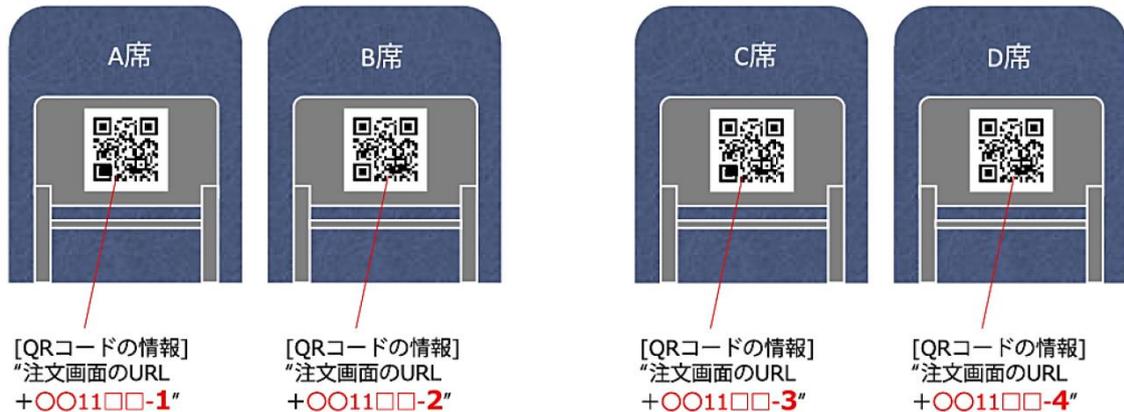


【別紙2】QRコードを用いた座席認証システムの仕組み

＜お客さま側＞

全ての座席に異なるQRコードが割り当てられており、お客さまがスマートフォン等で注文画面にアクセスした時点でサーバー側にて座席を判別することが可能。

(例) ○○編成 1 1号車 □□列



＜車内スタッフ側＞

編成ごとに異なるQRコードが車内に設置されており、乗務開始時に専用アプリが入った端末で読み込むことで、その編成内の座席からの注文のみを受け付けるよう設定される。



列車ならではの“座席反転”への対応

進行方向によって座席が反転するとQRコードと座席の位置関係は変化してしまうが、当システムではタイプごとの反転パターンを法則化。車内スタッフが乗務する際に、アプリに入力する列車番号によって当該編成が上り運行か下り運行かを判別し、独自の計算処理を行うことで自動的にQRコードと座席の対応関係を切り替えることができる。

